

システム開発（変更）計画書

市民課 マイナンバーカード手続予約システム

1 開発システム名（新規）	マイナンバーカード手続予約システム
2 目的	マイナンバーカード交付等の予約について、市役所窓口及び電話だけでなく、インターネット上においても予約可能とすることで、市民の利便性向上と事務の効率化を図る。
3 開発システム概要	名称:マイナンバーカード手続予約システム 内容:マイナンバーカード交付等について、市民がインターネット上で予約ができるシステム 期間:令和3年度中の運用を目指す。
4 現状・問題点及び開発の必要性	現在、マイナンバーカードの交付等の手続きは完全予約制であり、市役所窓口と電話でしか予約することができない。インターネット上においても予約可能とすることで、市民の利便性向上と事務の効率化を図る。
5 記録項目	①氏名 ②生年月日 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥交付通知書 ID
6 出力帳票	予約日に応じた予約一覧表
7 開発の効果	インターネット上でも予約可能となることで日時を問わず予約ができ、市民の利便性向上となる。
8 外部への資料提供	
9 非開示事項	
10 委託処理	
11 管理責任者	市民課長 榊富 一之
12 実務責任者	市民課 マイナンバーカード交付係長 河内 真由美

【業務所管課：市民課】

審議事項：マイナンバーカード手続予約システムの導入について

【目的】

マイナンバーカード交付等の予約について、市役所窓口及び電話だけでなく、インターネット上においても予約可能とすることで、市民の利便性向上と事務の効率化を図る。

【記録項目】

①氏名 ②生年月日 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥交付通知書 ID

【業務の内容】

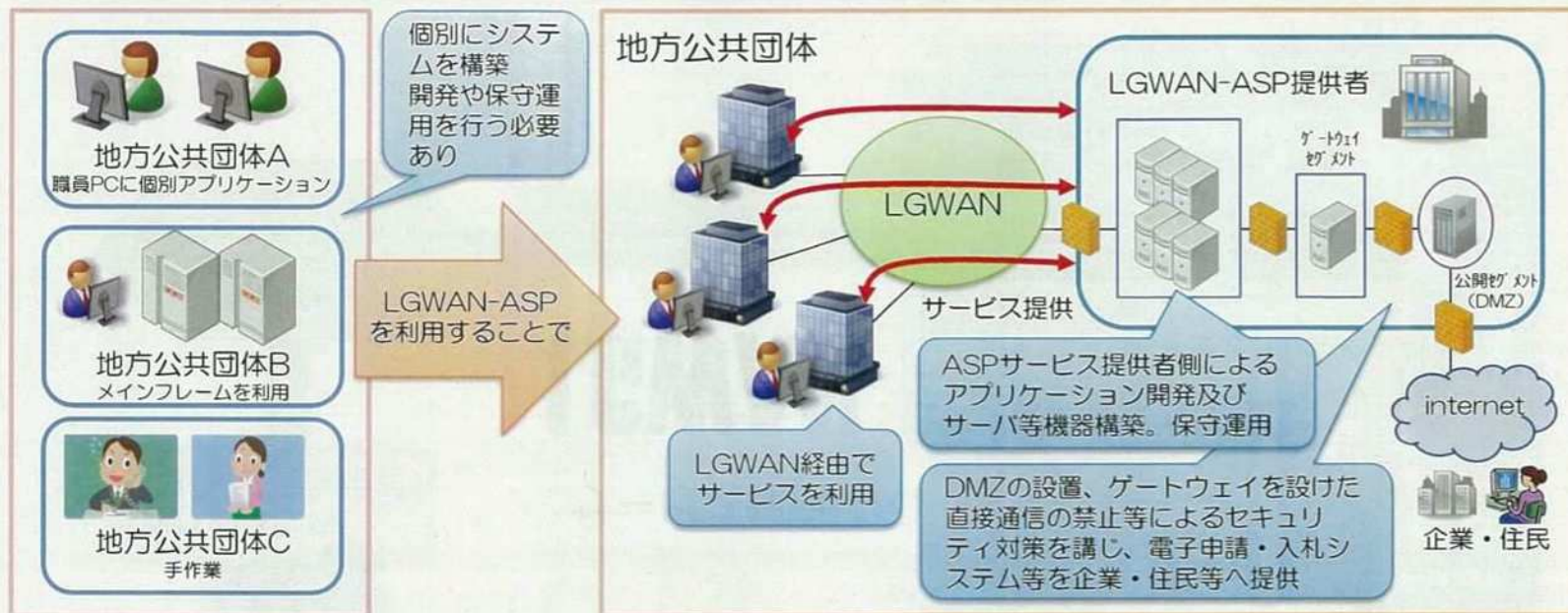
- ・市民がインターネット上でマイナンバーカード交付等の予約が可能。インターネットが利用できない市民に対しては、市職員が予約システムに入力する。
- ・予約状況が市民にも一目で分かり、共有できる。
- ・予約システムの導入により、今まで手書きで作成していた予約一覧表をシステムで簡単に作成することができるため、事務の効率化につながる。

【個人情報の安全性】

市は予約システムを総合行政ネットワーク(LGWAN 回線)経由で利用する(LGWAN-ASP)。総合行政ネットワーク(LGWAN 回線)は、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワーク(インターネットから切り離された閉域ネットワーク)であり、安全性が確保されている。

3-3 LGWAN-ASPの概要及び目的

- アプリケーションの機能をLGWAN経由で地方公共団体にサービス提供します。
- 地方公共団体はLGWAN-ASPサービス提供者による電子申請システムやグループウェア等、様々なサービスを利用することができます。地方公共団体が独自にシステムを構築するよりも、標準的で経済的なシステムを導入・運用することができます。

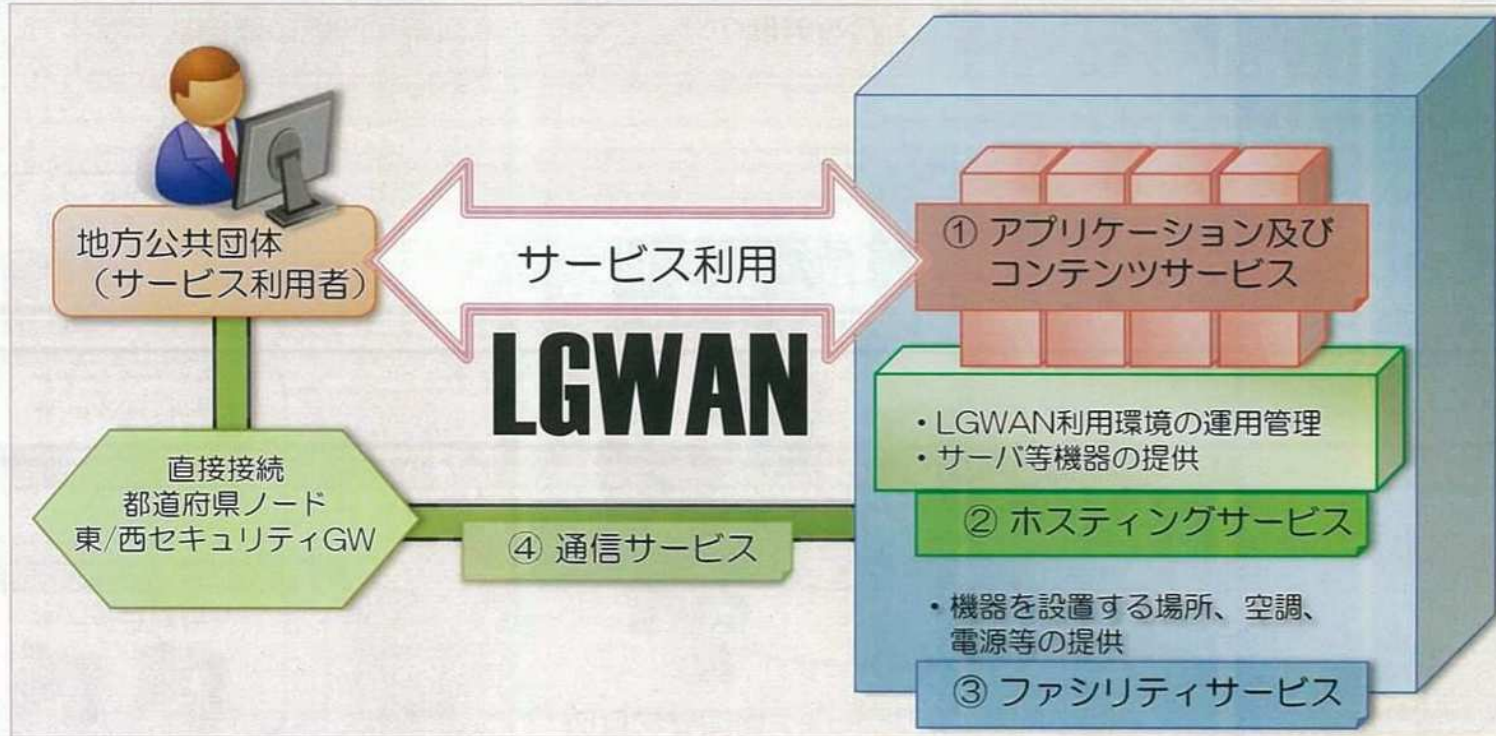


安全で時間の制約を受けないサービスの利用

システムの開発及び運用に係る業務の軽減

堅牢なデータセンターを利用することにより、災害時の業務継続性を確保

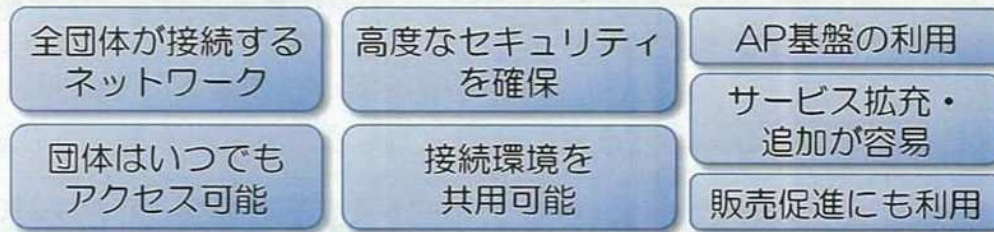
3-4 LGWAN-ASPのサービス構成及びメリット



庁内情報基盤管理者メリット



サービス提供者のメリット



◆LGWAN-ASPを調達仕様の要件とする事例もあります◆

システムの概要

【セキュリティについて】

LGWAN-インターネット間でのサービス提供を実現するために、「自治体情報システム強靱性向上モデル」に
りしたネットワーク構成でシステムを構築しています。三層構造でセグメントを分離し、ファイアウォールによる
り御を多重化し、LGWAN-ASPとLGWANならびにインターネット間は暗号化通信により、盗み見や改ざんへの
対策も実施しています。

